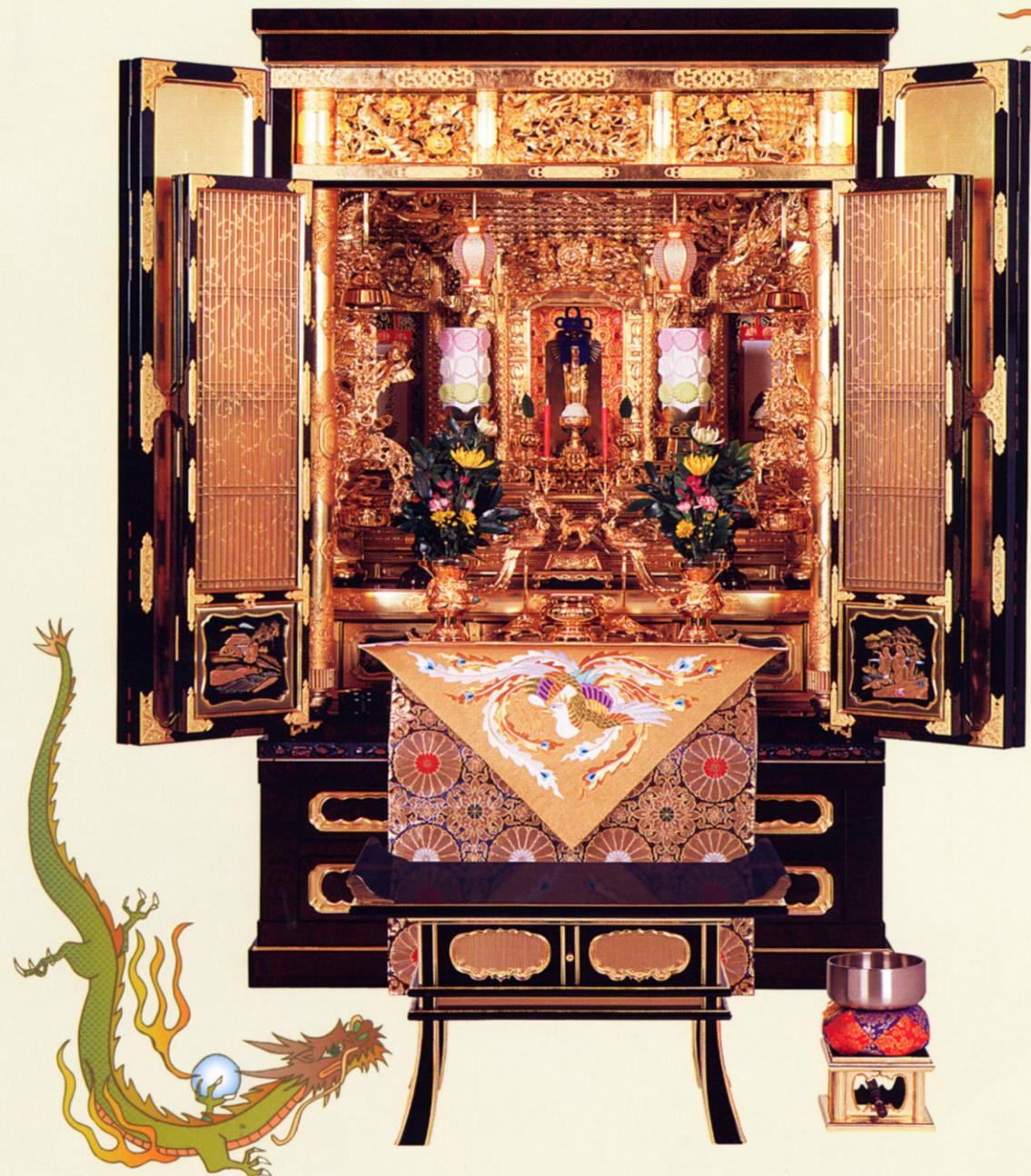


真宗高田派
お仏壇の莊嚴

仏具の飾り方



大きい仏壇のお飾り例 <報恩講時>



五具足 (しょくたい) かひん こうろ
(燭台1対+花瓶1対+香炉)



りん ぼう き りゅう
麟鳳亀龍

仏具解説

1 ご本尊

阿弥陀如来の立像。左ページは彫刻の例。右ページは掛軸の例。

2 脇 掛

イラストの ① か ② のように掛ける。①ご本尊を中心として、向かって右に親鸞聖人の軸を掛け、左に帰命盡十方無碍光如来と南無不可思議光如来が二行に書かれている合幅の軸を掛ける。② 右に帰命盡十方無碍光如来の十字名号を掛け、左に南無不可思議光如来の九字名号をかける。



3 位牌(法名)

上の写真のように、ご本尊、脇掛をさえぎらない位置へ控えて置く。

4 金灯籠

ご本尊がよく見えるように明かりとして灯す。

5 華 瓶

お水を入れ、檜などの青木をさす。

6 仏 器

写真のようにご本尊と親鸞聖人の前に炊きたてのご飯を蓮のつぼみ形に盛り仏器台にのせてお供えする。名号の前にはお供えしなくてもよい。お勤めが済んだらお下げする。



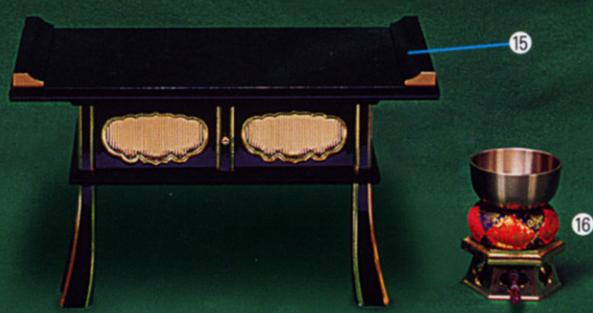
7 供華(華束)

六角形の器でお供え物を一对盛る。報恩講時の例では、落雁で貼菓子を作つてお供えしている。平素時は和菓子をお供えしている。

8 高 杯

丸形の器でお供え物を一对盛る。例では果物をお供えしている。

小さい仏壇のお飾り例 <平素時>

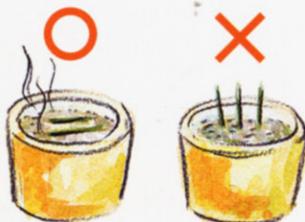


9 戸帖、華蔓 ご本尊を莊厳するために用いる布製仏具。

10 輪 灯 お勤めをする時に点灯する。高田派は桐紋様のものを用いる。左ページの例に使用されている。

11 具 足 蜷燭を灯し、生花を活け、香を燻するための仏具。左ページの写真は、高田派の特徴をよく表す麟鳳龜龍と呼ばれる五具足で平素は三具足でもよい。右ページの写真は、三具足でお飾りしている。

12 前香炉 前香炉は前卓の上に置く。線香は適当な大きさに折り、火先をご本尊に向かって左にして寝かせる。経机などには置かないようにする。



13 前 卓 じょく

仏壇の下段に置き、写真のように前香炉を中心にして具足をのせる。

14 打 しき

刺繡や織りの華やかな金襤製の仏具。報恩講や年忌などの仏事に使用し、平素は使用しない。右のイラストのように、四角形の下掛の上に三角形の角掛を重ね、前卓の台と木板ではさんで押さえる。



15 経 机

経本を開くための机で、原則として経本のほかは置かない。

16 り ん

お経を読むときに鳴らす。りん台、りん布団、りんの順に積み重ねて用いる。

17 香 盒

お香を入れておく仏具。



三具足 しょくだい かひん こうろ
(燭台+花瓶+香炉)



高田派の特徴と心得

●高田派仏壇はお淨土を表現しようとして作られています。宮殿に縞子模様の柱が立ち、ご本尊の前に唐戸が付き、両脇には昇り龍、下り龍の彫刻がほどこされた柱が立ちます。

●法会の場合、あらかじめ仏壇を清潔にし、仏具を正しく配置し、お餅、落雁、お菓子、果物をお供えします。蠟燭を灯したり線香を燃じたりするお給仕はすべて家人が行います。お下がりは家族でいただくようにし、魚や肉など生臭ものは避けましょう。

●お花は四季折々のものを取り合わせて活けますが、本山では「高田の一本松」と称して松一本を活けます。

●お水を供えるには華瓶を用います。華瓶は花を活ける花瓶とは違い、中に入れるお水が肝心です。湯のみなどでお茶やお酒は供えません。



●蠟燭は本来白い和蠟燭を用いますが、洋蠟燭でもかまいません。仏様の智慧をあらわす大切な光ですので、息を吹きかけて消すようなことは慎みましょう。

●他宗の仏像、お札、故人の写真などは仏壇の中へ入れないようにします。お骨はいつまでも置かず、お墓や納骨堂へ納めます。

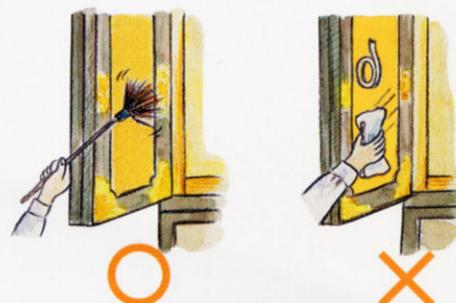


●念珠は男子は紐の総になっているもの、女子は総になっているものを用います。合掌のときは念珠に両手を通し、一番大きな親玉を上にして親指で押さえ、総を左に垂らします。女子で二連の念珠を使う場合は総を左右に垂らします。

●真鍮製の仏具はお磨きをして美しさを保ちます。現在では金メッキ仕上げのものが増えてますが、真鍮磨きなどでのお磨きを避け、柔らかい布などで拭いたり埃を払う程度にしましょう。



●金仏壇の金箔・金粉部分は薄くて柔らかいので、雑巾で拭いたりセロテープや糊などを使用しないで下さい。



この冊子は、高田派の仏具の飾り方の基本を解説していますが、あくまで基本であり、必ずこうでなければならないというものではありません。それぞれの家庭事情、ご予算などがありますから、求められる範囲内で結構です。ご本尊たる阿弥陀如来をお迎えして、お念佛の尊い教えに触れさせていただくことが大切です。お求めになる時期、安置する場所、方角など様々な迷信がはびこっていますが、迷信に惑わされず、まずはお迎えいたしましょう。

(高田本山御用達店)(日本宗教用具連合会会員店)(東海優良仏壇組合店)(三重県仏壇商組合加盟店)

仏壇仏具／製造販売《卸小売》寺院塗箔／洗濯修繕

沢徳仏壇(株)

●津 店／(〒514-0021) 津市万町本通り(塔世橋南詰)
☎ (059) 225-1626(代)

配送センター／(〒514-0823) 津市半田字池町573-5